

会社概要

(2017年9月30日現在)

商号	中央化学株式会社
設立年月日	1961年1月30日 (創業 1957年)
資本金	62億1,275万円
決算期	3月31日
従業員数	2,184名(連結)

役員一覧

(2017年9月30日現在)

代表取締役社長	水野 和也
代表取締役	森本 和宣
取締役	中井 正
取締役	竹内 修身
取締役	近藤 康正
取締役	早澤 幸雄
取締役	松本 吉雄
常勤監査役	大吉 正人
監査役	山口 吉一
監査役	鳥居 真吾
監査役	中村 竜一

株式情報

(2017年9月30日現在)

株式の概要

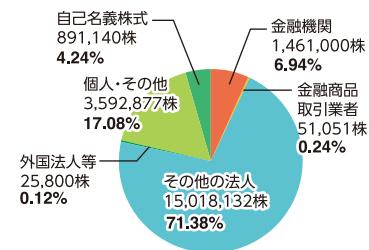
発行可能株式総数	40,000,000株
発行済株式の総数	21,040,000株
株主数	899名

株主メモ

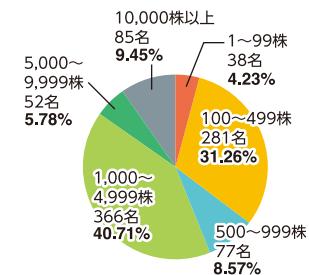
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所 (JASDAQスタンダード)
公告の方法	電子公告 http://www.chuo-kagaku.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、 その他のやむを得ない事由が生じたときは、 日本経済新聞に公告いたします。)

株主構成 ※2017年9月30日現在の株主名簿上での名義で記載しております。

●所有者別株式分布



●所有株式数別株主分布



安心を、いつも中央に。

株主通信

第58期 中間決算報告
2017年4月1日 ▷ 2017年9月30日

- トップメッセージ
株主の皆様へ
- トピックス
「C-PET 中皿」が「日食優秀食品機械・資材・素材賞」を受賞
・関西営業部 移転・プレゼンテーションセンター開設
- 中国事業
・中国事業の取組み
- 製品紹介
・機能性容器 -ロングライフ-

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、日頃より当社グループへのご理解とともに格別のご支援を賜り、誠に有難うございます。

当社グループ第58期第2四半期(2017年4月1日から2017年9月30日)が終了致しましたので、ここに営業の概況と中間決算についてご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、鉱工業生産が内外需要の好転により回復基調を鮮明とするなか、個人消費においても、雇用所得環境の改善を背景に持ち直し、国内景気は着実な回復を続けています。日銀は引き続き金融緩和政策を維持しており、原油価格の上昇と相まって、国内物価は上昇に転じているものの「生鮮及びエネルギーを除く総合」においては、引き続き横ばいの状況が続いているなど、物価の基調は弱い状況が続いております。

食品包装容器業界と極めて関連性の深い一般消費財市場においては、依然として消費者の節約志向・低価格志向傾向は見られるものの、雇用環境の改善等に支えられ民間最終消費支出はプラス基調を鮮明にしております。また、当第2四半期における当社の原料調達価格は比較的安定して推移したものの、昨年度の水準からは大き

く上昇しました。

国内では、営業面において、8月に完成した関西ショールームにおいて「AUTUMN FAIR」を開催し、当社が目指すトータルコーディネーションを提案、多くの方々にご来場いただきました。また、食品の消費期限を延ばし食品廃棄ロスの削減に貢献するロングライフ容器、超耐熱・高断熱・耐寒等の機能を持つ機能性素材容器、環境に優しいリサイクルPET樹脂製容器の販売については引き続き進めております。なお、前期比での原材料価格上昇に伴い、第1四半期より取り組んでおります価格修正については、その効果の多くは第3四半期以降に実現する見込みです。

生産面では、各地域の営業部と連携し地域独自の食文化に根ざした製品を小ロットで供給する体制を整え、地産地消の一層の進展をはかっております。一方、労働需給逼迫により当社製造現場においても人材確保の遅れから、一部の工場で生産効率の低下を招いております。

中国においては、中国の現地メーカーでの技術向上も見られるなか、食品容器関連市場は激戦となっておりますが、独自の素材を持ち、安全・安心な当社グループ製品に対するハイエンド市場からのニーズは依然根強い状況

にあります。

この結果、当連結会計年度の業績は、売上高が29,213百万円(前年同期比0.1%減)、営業損失956百万円(前年同期は152百万円の利益)、経常損失927百万円(前年同期は354百万円の損失)、親会社株主に帰属する当期純損失は、固定資産減損損失804百万円等もあり、1,810百万円の損失(前年同期は425百万円の損失)となりました。これらの減益は夏場の天候不順による個人消費の不振等による汎用品を中心とした販売量減少や、原材料価格上昇と価格転嫁のタイミングのずれ及び生産性向上の遅れ等によるものですが、下期以降については製品ポートフォリオや生産体制の最適化により収益改善を進めてまいります。

当中間決算における配当につきましては、直近までの業績を鑑み、誠に遺憾ではございますが見送りとさせていただきます。

株主の皆様には深くお詫び申し上げますとともに、ご理解を賜りたくお願い申し上げます。さらに、将来に向けた当社の取組みを是非ご理解いただき、引き続きご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。



中央化学株式会社
代表取締役社長

水野和也



※2014年3月期は決算期の変更(12月31日を3月31日)に伴い、2013年1月1日から2014年3月31日までの15ヶ月の変則事業年度となります。
※上記決算期の変更に伴い、第2四半期の期間も変更となります。2014年3月期まで(1月1日～6月30日)、2015年3月期から(4月1日～9月30日)。

トピックス

「C-PET 中皿」が「日食優秀食品機械・資材・素材賞」を受賞

当社の「C-PET 中皿」は、日本食糧新聞社制定の「日食優秀食品機械・資材・素材賞」を受賞しました。

本賞は、食品業界の品質と効率の向上に役立ち、発展を支えた「機械」「資材」「素材」を、業界団体、協会で構成される委員会が選考し、表彰するものです。

「C-PET 中皿」は220℃の耐熱性、耐寒衝撃性、ガスバリア性を持ち、スチームコンベクションオープン*で調理が可能なプラスチック製食品容器です。「生産性の向上」「調理工程の効率化」等が実現でき、食品業界の人手不足解消の手助けとなる点が評価されました。

*スチームコンベクションオープン…多機能加熱調理器具です。水蒸気と熱風により「焼く」「蒸す」「揚げる」などのさまざまな調理ができます。



関西営業部 移転・プレゼンテーションセンター開設

関西営業部の移転に伴い、新たにプレゼンテーションセンターを開設しました。

プレゼンテーションセンターは、お客様の売場作りから商品企画までをサポートできるよう「ショールーム」「テストキッチン」「セミナールーム」「プレゼンテーションルーム」などの施設を備えています。地域のお客様とのチームマーチャダイジングをさらに深め、多種多様に变化する社会構造やライフスタイルに対応していきます。



ショールーム



プレゼンテーションルーム



テストキッチン



セミナールーム

中国事業

中国事業の取組み



当社は中国に5製造拠点、8販売拠点及び統括管理の法人を有し、全拠点の総合力を活かし、継続的拡大を目指しております。中国市場については、都市部を中心として消費財市場が拡大し、地方都市に波及しており、包装容器の市場規模は伸長を続けております。そのような市場において、当社は“市場ニーズに適う機能性素材の開発と製品ラインナップ”及び“安全・安心ブランドの確立による信頼性”という強みを活かし、高付加価値のハイエンド市場を中心に事業を展開しております。一方、現地メーカーとの競争はますます強まることから、省人化・自動化設備の導入、生産拠点の再配置等により、一層のコスト競争力向上を目指してまいります。

(2017年9月30日現在)

 管理拠点 統括管理 環菱中央化学管理有限公司	 製造・販売拠点 1 海城中央化学有限公司
 製造・販売拠点 2 北京雁栖中央化学有限公司	 製造・販売拠点 3 無錫中央化学有限公司
 製造・販売拠点 4 上海中央化学有限公司	 製造・販売拠点 5 東莞中央化学有限公司
 販売拠点 6 香港中央化学有限公司	 販売拠点 7 上海中央化学有限公司 成都分公司



製品紹介

機能性容器 -ロングライフ-

ロングライフ機能を有するガスバリア容器は、包装機・ガス・フィルムメーカー様との協業により食品の鮮度を保持し消費期限を延長できる容器です。

人口減少や食品廃棄量の増加を背景に、食品業界では消費期限延長や廃棄ロス抑制、製造工程の改善等が求められており、当社はガスバリア容器で消費期限を延長させることで、廃棄ロス削減にも貢献します。

● ガスバリア容器で出来ること

鮮度保持

食品の酸化・菌の繁殖を抑制し、食品の鮮度を保持します。

食品廃棄ロス削減

廃棄ロスを減少させるとともに廃棄にかかる費用や手間も低減します。



● 製品ラインナップ

当社既存素材へバリア性を付与し、さまざまな要望にお応えします！

バリアPSP

軽い容器を使いたい！



C-PET

容器のまま調理したい！



バリア耐寒CT

冷凍流通したい！



バリアCT

そのまま温めたい！



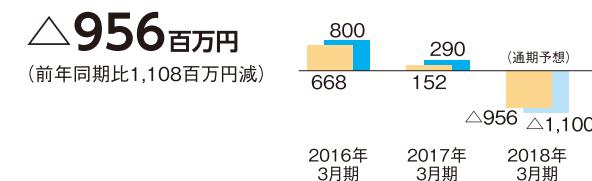
■ 連結財務諸表

● 収益の状況(連結)

単位:百万円



営業利益(△営業損失)



経常利益(△経常損失)



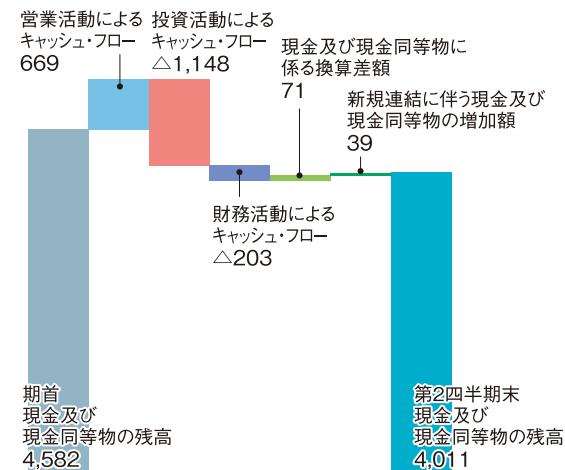
親会社株主に帰属する当期純利益(△純損失)



● キャッシュ・フローの状況(連結)

単位:百万円

(2017年4月1日～2017年9月30日) ※百万円未満は切り捨て



● 資産の状況(連結)

単位:百万円

(2017年9月30日現在)

